



「隣人祭り」日本支部

2008年12月1日(月)12時～ 於：立川市富士見町団地

<緊急対談>

新党日本代表・参議院議員 パリ17区長・隣人祭り発起人

田中康夫 × アタナーズ・ペリファン

<日本の未来を変える「隣人社会」の再構築>

～高齢化社会、子育て世帯の孤立、虐待問題の根源にあるもの～

「だれかに、自分の存在を認めてほしい」。

いまの日本が抱えるさまざまな社会問題の多くが、現代社会における人間関係の希薄さ、コミュニティ力の不足にあると言われます。

無差別に行われる殺人や、高齢者の孤独死、子殺しに至るほどの母親たちの孤立、学校や地域、職場で多発する虐待やいじめ。

そんな東京と、同じ悩みを抱える都市パリで、同じ建物、同じ地域に暮らす人たちがもっと「つながる」ことで、社会を変えていこうと、約20年前、ひとりの人物がアクションをスタートしました。

当時、パリ17区の区長補佐だったアタナーズ・ペリファン氏は、同じマンションでひとり暮らす高齢者が、死後1か月も発見されず放置されているのを発見。ペリファン氏自身も移民の子に生まれ、差別や偏見に悩んできた背景があり、このような悲劇を繰り返さないため、住人たちがもっと互いを知り、交流する機会をつくる活動をスタートしました。それが「隣人祭り」です。

小さなアパートのパーティから始まったこのアクションは、現在、世界29か国800万人の人たちが、5月の最終火曜に集まって、隣人との交流を深める「隣人祭り(ヨーロッパ・ネイバーズ・デー)」として、ヨーロッパを中心に広く知られるイベントとなっています。

このたび、アタナーズ・ペリファン氏の来日の実現し、東京でも有数の巨大団地を会場に、参議院議員・田中康夫氏との対談、シンポジウムを開催します。これからの日本がどう「つながり」を取り戻し、幸福な社会を実現していくのかを、本対談を通して模索していきます。



< 記 >

● 『日本の未来を変える「隣人社会」の再構築』

ー高齢化社会、子育て世帯の孤立、虐待問題の根源にあるものー

12時～13時 田中康夫氏とアタナーズ・ペリファン氏の対談

13時～14時 団地関係者・来場者・メディアとの質疑応答

● 日時

2008年12月1日（月）12時～14時

● 場所

富士見町団地

東京都立川市富士見町 6-25 敷地内公園（雨天時は集会室）

● 対談ゲスト

田中康夫氏（新党日本代表・参議院議員）

● アタナーズ・ペリファン氏／プロフィール

パリ市17区議会委員。企業経営者。1990年、現代社会の無関心を克服しようとNPO「パリの仲間たち」を立ち上げる。この運動を引き継ぎ、99年に「隣人祭り」を開催、03年にはヨーロッパ全域に拡がり、「ヨーロッパ・ネイバーズ・デー」となる。

『隣人祭り』とは？

「隣人祭り」とは、世界29カ国800万人の人が同日同時刻（5月の最終火曜日）のご近所同士で食べ物などを持ち合って集まるパーティです。人との関係が希薄になっている現在、同じ地域で暮らす人や働く人たちとより快適な“つながり”をつくることを目的として世界各国で開催されています。日本には今年5月に初上陸し（有限責任中間法人ロハスクラブ主催「第3回ロハスデザイン大賞・新宿御苑展」にて第1回隣人祭りを開催）、その後、6月に「隣人祭り」日本支部が発足しました。日本では現在「隣人祭り」コンシェルジュが23名おり、5月の最終火曜日に関わらず全国各地で「隣人祭り」を開催し、NHK『クローズアップ現代』をはじめ、テレビ・新聞・雑誌等のメディアにも広く紹介されています。

「隣人祭り」日本支部 公式ホームページ：<http://www.rinjinmatsuri.jp/>
